

TruPhase の追加導入(4)  
—CD の位相チェック(1)—

1. はじめに

前報(3)までに設置と動作確認が終了しましたので、目的とした CD の位相チェックを行っていきます。

2. TruPhase の試聴方法

前報(2)で報告した EMT981 のシステムで CD 再生を実施し、音質と位相反転の効果を確認します。接続やボリュームの設定あるいはアクセサリーの追加は前報(2)のとおりです。

試聴する音源は音源の[位相チェック実験\(27\)](#)と[位相チェック実験\(28\)](#)と[位相チェック実験\(29\)](#)で使用した CD から選抜した下記の CD です。

DECCA UCCD-9823/24

J.S.Bach Sonatas & Partitas

アルチュール・グルミヨー

Deutsche Grammophon UCCG-9719/20

J.S.Bach Sonatas & Partitas

ヘンリク・シェリング

Deutsche Schallplatten TKKC 70027

J.S.Bach Sonatas & Partitas

カール・ズスケ

ユニバーサルミュージック UCCY-1049

J.S.Bach 無伴奏ヴァイオリンソナタ全曲・無伴奏ヴァイオリンパルティータ全曲

千住真理子

SONY Classical SRCR-2677

J.S.Bach 無伴奏ヴァイオリンソナタ 1 番・無伴奏ヴァイオリンパルティータ 2 番・3 番

前橋汀子

DECCA UCCD-1467

J.S.Bach 無伴奏ヴァイオリンソナタ 1 番・2 番

無伴奏ヴァイオリンパルティータ 2 番

ヒラリー・ハーン

Anchor Records UZCL-1030

J.S.Bach 無伴奏ヴァイオリンソナタ 1 番

## 無伴奏ヴァイオリンパルティータ 2 番・3 番

エンリコ・オノフリ

以上のうち、グルミヨー、シェリング、ズスケはアナログマスター時代のものであり、その他はデジタルマスターであり、これらの奏者の演奏を実際に演奏会で聴いた経験があるものです。

位相チェック実験(27)と位相チェック実験(28)と位相チェック実験(29)とでは、Brooklyn DAC+の位相反転機能を使用していますが、今回は、TruPhaseB の位相反転機能を使用し、前報(2)の手順に従って音量調整を行いながら位相反転を行いつつ試聴していきます。

### 3. TruPhase の試聴結果

グルミヨーは、1960 年～1961 年の録音で、TruPhase B で位相反転させますと、散漫な音が中央に凝縮し、定位がしっかりしてきます。

シェリングは、1967 年の録音で、TruPhase B で位相反転させますと、散漫な音が中央に凝縮し、定位がしっかりしてきます。

ズスケは、1983 年から 1987 の録音で、年前報(2)の再確認で、TruPhase B で位相反転させますと、散漫な音が中央に凝縮し、定位がしっかりしてきます。

上記の 3CD は、いずれもアナログマスター時代の CD であり、これらにアナログ盤の位相は逆相ですので、それを引き継いでいるものと思われ、位相チェック実験(27)の結果とも一致しました。

また、上記は音質的にも録音の古さを感じさせず、アナログ的な雰囲気を引き継いでいます。

千住真理子は、2014 年の録音で、ガット弦のストラディヴァリウス「デュランティ」でのヴィブラートを押えた演奏で、TruPhase B で位相反転させますと、広がり感がでて音が散漫になり、定位がぼやけます。

前橋汀子は、1988 年の録音で、力強いボウイングでガルネリの妖艶な音色を引き出しており、TruPhase B で位相反転させますと、広がり感がでて音が散漫になり、定位がぼやけます。

ヒラリー・ハーンは、2012 年と 2017 年の録音で、ゆったりと丁寧な弾き方でヴィヨームの澄んだ音が聴けます。TruPhase B で位相反転させますと、広がり感がでて音が散漫になり、定位がぼやけます。

オノフリは、2014 年の録音だけあって、オノフリの独特の曲芸的なボウイングや残響音までも子細に捉えられており、シャコンヌは演奏会のアンコール曲の演奏を思い出させてくれますが、TruPhase B で位相反転させますと、広がり感がでて音が散漫になり、定位がぼやけます。

上記の 4CD は、いずれもデジタルマスターになってからの CD です。また、4 人

とも演奏を聴いており、前橋汀子はプログラムで、ヒラリー・ハーンとオノフりは、アンコール曲で聴いており、千住真理子は別の曲でした。

上記のとおり、千住真理子のヴァイオリンはストラディヴァリウス「デュランティ」、前橋汀子はガルネリ、ヒラリー・ハーンはヴィヨーム、オノフりは不明ですが、ガット弦の古楽用仕様で、それらの特徴が CD でもよく把握できました。

#### 4. まとめ

録音年代やレーベルによる位相反転の効果を十分に認識できました。音質的には、XRL リベラメンテやヴォリュームアキュライザーの効果で、アナログマスター時代の CD と最近のデジタルマスターの違いもよく分かり、前者もフレッシュな音で聴くことができました。

以上